

慣用句⑧

名前



「次の慣用句を使って、短いお話（または文章）を書きましょう。」

例

慣用句
音^ねを上げる

あまりの練習^{きび}の厳しさに、ついに音^ねを上げた。

①

慣用句
吹けば飛ぶような

②

慣用句
大海^{うみ}の一滴^{いつてき}

③

慣用句
手綱^{たづな}を締める

④

慣用句
手玉^{てたま}に取る

⑤

慣用句
白羽^{しらは}の矢^やを立てる

⑥

慣用句
墓穴^{ぼけつ}を掘る

⑦

慣用句
長い目^{ながめ}で見る

⑧

慣用句
手塩^{てしお}にかける

慣用句⑧

名前



「次の慣用句を使って、短いお話（または文章）を書きましょう。」

例

慣用句

音^ねを上げる

あまりの練習^{きび}の厳しさに、ついに音を上げた。

①

慣用句

吹けば飛ぶような

あんな吹けば飛ぶような会社が、大企業に勝つなんてすごい。

②

慣用句

大海^{いっけ}の一滴

僕^{ぼく}の力なんて、この大きなプロジェクトの中では大海の一滴だ。

③

慣用句

手綱^{たづな}を締める

油断しないように、ここで一度手綱を締めてかろう。

④

慣用句

手玉^{てたま}に取る

彼は人を手玉に取るのがとてもうまい。

⑤

慣用句

白羽^{しらは}の矢を立てる

次のリーダーとして、先生は彼に白羽の矢を立てた。

⑥

慣用句

墓穴^{はけつ}を掘る

余計なことを言って、自分で墓穴を掘ってしまった。

⑦

慣用句

長い目で見る

今はまだ下手でも、長い目で見て彼の成長を応援しよう。

⑧

慣用句

手塩^{てしお}にかける

おばあちゃんは、この花を手塩にかけて育てたそうだ。